第20回

MASセミナー

「街と建築の未来への3つの提言 ~まずは港区から~」

> 日時:2015/10/17(土) 講演:14:00~16:00



生活環境のなかで郷土を彷彿とさせる地形こ そ残しておいて欲しい、それが例えひとかけ らの断片であっても人の想像力をかきたてる ことができれば意味があると、、。見直したい もので、具体的なものとしてすぐ出来る事と すれば、使われなくなった横断歩道橋に代表 される日常のなかで意味をもたない(百害 あって一理なし)無用の長物の撤去。

一石を投じる想いとして中世の職人のような 具体的作業(労働)から得られる喜びの復活。 それは職人を職能として認め、それに応じた 社会的格付けと賃金体系を創設することが必



今井 均



港区は、表参道や青山などがあり、華やか なブランドイメージがありますが、麻布や 白金エリアなど、大通りから一本入ると住 宅の多い静かなエリアが広がっています。 麻布や三田のエリアには大使館も多く財閥 系の迎賓館があり美しい風景があり、原生 林のような広大な自然が残っていたりしま す。そのような場所は貴重ですが、社会的 背景や資本の論理によって排他的バリアが 形成されることが多いのも、港区的だと感 じます。生活に近いところにあって、人を 受け入れる精神性と秩序を持った場所の存 在とは何か、を考えてみたいと思います。



田口 知子



東京を廻る環状 4 号線の計画は、何と昭和 2 1年から始まっているそうです。今度、いよ いよこの計画の最終面が動き出し、JR 品川駅 の北側を跨いで港南からプラチナ通りまでを 繋ぐことで、都が2年間ほど地元調査を始め るとのことです。この辺は昔、芝白金今里町 と称し、小川が流れ水車もあったところもあ り、今も緑が深い住宅地です(残したい)。 今になって、ここに4車線の道路を通す? 考えられません (見直したい)。何としてで も地下道にしてもらいましょう(一石を投じ たい)。



大倉冨美雄



JIA港地域会会員であると同時に私自身も 曽祖父の代から港地域住民です。ここは、変 化と刺激に富んでいる街であることと同時に、 住民目線で見た時には、故郷不在のエトラン ゼ感覚に寂しさも感じます。お盆の度に寂し い思いもしてきました。都心も高齢化が避け られない昨今、多世代地域コミュニティを創 れる可能性を青山近辺の公共空間にみつけま した。身近な場所に豊かな可能性があること

を小さな声でお話ししたいと思います。

地域逍遥 小さいコミュニティの創出へ



村上晶子





連健夫